

2013年8月21日

全国の教会・伝道所の皆様

現地支援委員会 委員長
盛岡バプテスト教会 大須賀 真人

『現地支援委員会ニュースレター』第8号送付の件

主の御名を讃美いたします。

日頃から私たち東北にある教会・伝道所の被災地における歩みを覚えてお祈りくださり、心から感謝いたします。

不安定な気候が続くなか、全国各地で「落雷」「土砂崩れ」「浸水」「冠水」などの災害が起っています。何よりもまず、痛みと悲しみ、不安の中にある方がたをおぼえて、主の癒しと慰めをお祈りいたします。

また、次から次へと起こり続けている災害のなかで、実は、あの東日本大震災の余震も、今もなお起こり続けています。今月の4日には、石巻市などで「震度5強」の余震がありました。おそらく、多くの方がたが、あの震災の出来事を思い起こされたのではないのでしょうか。同時に、あの津波、地震、原発事故で被害にあわれた地域では、今もなお、その余波から抜け出す事ができず、安心して暮らせるまでには、おそらく長い時間を必要とする方が多くおられます。未だに自分の住まいを持つ見通しすらも立てられずにいる方、住まいを持つ見通しが立っても、その後の生活の見通しが立てられずにいる方、震災によって受けた肉体的・精神的なダメージに苦しんでおられる方、町のコミュニティーが分断され、人間関係に悩んでおられる方、その他、様々な課題によって、痛み、悩み、苦しんでいる方がおられます。震災問題は、まだ終わっていないどころか、ほとんど何も動いていないところすらあるのです。

「現地支援委員会ニュースレター」では、前号に引き続き、それぞれの支援活動の場から一カ所、二カ所を選び、そのようすを詳しくお伝えしたいと思っています。その地域の方がたの声や、その方がたと共に歩む教会が感じている事、さらには共有したい祈りの課題など、限られた紙面のなかで精一杯お伝えしていきたいと思っています。ぜひ貴教会・伝道所にて掲示してご覧いただき、共に祈りを合わせていただければ幸いです。

最後になりましたが、貴教会・伝道所の歩みの上に、主の祝福と恵みが豊かにありますように、心からお祈りしています。皆様のご支援に心から感謝して。

在 主